

財政状況等一覧表（平成19年度）

団体名 横芝光町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
3,310	2,309	341	5,960

1. 一般会計等の財政状況

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	9,884	9,451	433	403	773	8,708	
一般会計等	9,884	9,451	433	403		8,708	

2. 公営企業会計等の財政状況

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
病院事業会計	1,092	1,218	△ 127	△ 57	392	1,651	1,089	法適用
農業集落排水事業特別会計	70	65	5	5	51	639	597	
東陽食肉センター特別会計	243	203	40	40	-	177	-	
国民健康保険特別会計	3,369	3,131	239	239	232	-	-	
老人保健特別会計	2,090	2,076	14	14	231	-	-	
介護保険特別会計	1,515	1,470	45	45	257	-	-	
公営企業会計等計				286		2,467	1,686	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
九十九里地域水道企業団 (水道用水供給事業会計)	7,229	6,207	1,023	5,963	-	13,754	18	法適用
山武郡市広域水道企業団 (上水道事業会計)	5,752	5,320	432	5,719	-	1,196	-	法適用
八匠水道企業団 (水道事業会計)	1,371	1,379	△ 8	862	-	1,067	-	法適用
山武郡市広域行政組合(一般会計)	4,665	4,458	207	207	82	2,462	199	
東総衛生組合(一般会計)	773	721	52	52	10	788	74	
山武郡市環境衛生組合(一般会計)	1,177	1,090	87	87	-	1,432	328	
匝瑳市ほか二町環境衛生組合 (一般会計)	984	924	60	60	100	1,274	223	
匝瑳市横芝光町消防組合(一般会計)	1,042	1,031	12	12	-	208	78	
千葉県市町村総合事務組合 (一般会計)	37,414	36,859	555	555	3,779	0	0	
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県自治会館管理運営特別会計)	221	204	17	17	-	-	-	
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県自治研修センター特別会計)	119	112	7	7	2	-	-	
千葉県後期高齢者医療広域連合 (一般会計)	2,176	1,844	332	332	-	-	-	
一部事務組合等計				13,873		22,181	920	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
-	-	-	-	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等計									

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		1,030	
減債基金		85	
その他充当可能基金		1,721	
充当可能基金計		2,836	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.37	6.76	1.39	△ 14.46	△ 20.00	病院事業会計		△ 7.2	
連結実質赤字比率		11.55		△ 19.46	△ 40.00	農業集落排水事業特別会計		54.9	
実質公債費比率	12.8	11.7	△ 1.1	25.0	35.0	東陽食肉センター特別会計		22.5	
将来負担比率		67.9		350.0					
財政収支指数	0.53	0.55	0.02						
経常収支比率	92.8	90.4	△ 2.4						

- (注) 1. 「実質赤字比率」・「連結実質赤字比率」・「資金不足比率」は負数(△)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。